

## 国家試験免除 第二級海上特殊無線技士【2海特】養成課程

### eラーニング募集案内

弊社は総務省東海総合通信局の認定を受け、通年 eラーニングによる第二級陸上特殊無線技士(2海特)の養成課程を実施しております。以下 eラーニング養成課程の受講者募集案内をさせていただきます。

#### 1. この養成課程の概要

無線従事者養成課程とは、「規定のカリキュラムをすべて受講し、修了試験に合格すると国家試験合格と同等の扱いとなり、無線従事者免許が受けられる制度」です。無線従事者資格のうち特殊無線技士などは、国家試験のほか養成課程によっても取得可能です。

この養成課程は、インターネット接続可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の通信端末で eラーニングによりカリキュラムの全受講を行うことができます。陸上の無線に関する「無線工学」「法規」について時間があるときに基礎から学ぶことができます。

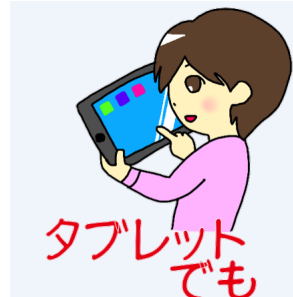
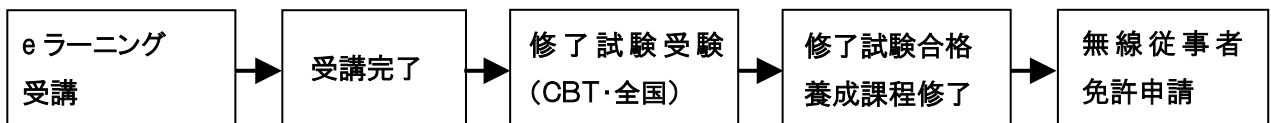
また、受講を完了した後の修了試験はCBT方式(試験会場のパソコンに解答を入力する方式)により全国270箇所以上の試験センターで受験が可能です。修了試験に合格されますと「養成課程修了」となり、無線従事者免許申請を行うことができます。

修了された方は、引き続き弊社から管轄の東海総合通信局に受講者様の無線従事者免許申請を行い、公布された免許証をお渡しするまでを一連で行います。

アマチュア無線技士を除く無線従事者資格の取得者は、その資格により甲種消防設備士(特類を除く)の受験が可能です。

当該養成課程は一定の有資格者が受講できる「時間を短縮したもの」ではなく、どなたでも受講できるものです。

・受講開始から免許証受領までの流れ



## 2. 第二級海上特殊無線技士の資格操作範囲について

「第二級海上特殊無線技士」の資格によって操作できるのは次の範囲です。

- ①船舶に施設する無線設備(船舶地球局及び航空局の無線設備を除く。)並びに海岸局及び船舶のための無線航行局の無線設備で次に掲げるものの国内通信のための通信操作(モールス符号による通信操作を除く。)並びにこれらの無線設備(レーダー及び多重無線設備を除く。)の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作(3海特の範囲も操作できます。)
  - (イ) 空中線電力 10 ワット以下の無線設備で 1606.5 キロヘルツから 4000 キロヘルツまでの周波数の電波を使用するもの
  - (ロ) 空中線電力 50 ワット以下の無線設備で 25010 キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するもの
- ② レーダー級海上特殊無線技士の操作の範囲に属する操作(レーダー海特の範囲も操作できます。)  
(海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局のレーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作)

## 3. 養成課程の受講資格

当該養成課程は公募型養成課程(弊社が主催・募集)とし、受講資格要件は次の(1)及び(2)の条件を満たす方です。

(1) 修了試験の受験時に必要な、次の8種類いずれかの「身分証明書(写真付き)」を所持しており、修了試験会場で提示可能な方(13種類)

- ・運転免許証
- ・小型船舶操縦免許証
- ・パスポート
- ・写真付き住民基本台帳カード
- ・個人番号カード(マイナンバーカード。表面のみを参照して使用します。)
- ・無線従事者免許証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・工事担任者資格者証(同上)
- ・運転経歴証明書(同上)
- ・電気通信主任技術者資格者証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・危険物取扱者免状(写真の有効期間内のもの) ・消防設備士免状(同左)
- ・在留カード(写真付き。日本国政府発行のもので有効期間内のものに限る。)
- ・特別永住者証明書(同上)

(2) インターネット回線及びインターネット接続可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の端末が利用可能であり、インターネット接続のスキル(WEBアクセス、ID及びパスワード入力、画面をクリックして項目選択等が可能)を有する方で、受講申込時に、次の①、②にいずれも該当しない方

- ① 電波法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない方

②第二級海上特殊無線技士(当該資格)、及び第二級海上特殊無線技士の操作範囲を含む他の資格(下記※)を既に取得されている方

(※)第二級海上特殊無線技士の操作範囲を含む資格とは、次の通りです。

【 】内のアルファベットは、免許証番号の資格の記号です。

- (a) 第一級海上無線通信士 [1海通]【X】
- (b) 第二級海上無線通信士 [2海通]【Y】
- (c) 第三級海上無線通信士 [3海通]【Z】
- (d) 第四級海上無線通信士 [4海通]【D】
- (e) 第一級海上特殊無線技士 [1海特]【R】
- (f) 第二級海上特殊無線技士 [2海特]【V】(当該資格)
- (g) 第一級総合無線通信士 [1総通]【A】
- (h) 第二級総合無線通信士 [2総通]【B】
- (i) 第三級総合無線通信士 [3総通]【C】

また、次の旧資格も第二級海上特殊無線技士の操作範囲を含みます。

\* 特殊無線技士(国際無線電話)

\* 特殊無線技士(無線電話甲)

#### 4. 養成課程の受講期間、標準的な受講期間

2海特養成課程eラーニングは通年開催されており、希望日から受講開始できます。受講者の受講開始日から修了試験(追試験を含む)の合格日までは4ヶ月以内です。尚、全受講を完了されないと修了試験を受けることができません。期間内に受講を完了されない場合は失格となり免許が得られなくなります。また、修了試験不合格の場合は、規定の再受講の完了後に一度のみ、追試験が受けられます。(要追試験料)

標準的な受講期間は、受講開始から7週間です。(受講期間の目安です。)

主たる実施の場所:

〒468-0058 愛知県名古屋市天白区植田西2-110-1 株式会社ベータテック

※主たる実施の場所には、事務処理担当部署、講師等が配置されております。

#### 5. 養成課程の授業科目及び授業時間(規定時間数による)

養成課程の資格	授業科目	授業時間
第二級海上特殊無線技士	無線工学	5時間
	法規	8時間

※上記の実際の授業時間は、無線工学・法規のテキスト・テスト・練習問題の学習ペースにより、無線工学:5時間、法規:8時間よりも長くなる可能性があります。

#### 6. 養成課程の受講に必要なシステム

養成課程の受講は、eラーニングのシステムを使います。eラーニングに必要なシステムは次の通りです。

(1)利用可能なインターネット回線(有線LAN、無線LAN等)

(2)インターネット接続が可能で、ブラウザソフトによるホームページ閲覧が可能であり、電子メールの送信・受信が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の通信端末（複数の端末で使い分けも可能。）

**※電子メールアドレスがeラーニングの受講IDとなるため、電子メールアドレスがないと受講できません。また、受講には1名様毎に異なる電子メールアドレスが必要です。お申込みいただく際の申込書には、受講者本人のみが使用する電子メールアドレスを必ず記載してください(スマートフォンのアドレスも可)。**

## 7. 受講申込・受付・受講開始・必要書類送付まで

(1)受講のお申し込みは、弊社ホームページのリンクから申込フォームを開いていただき、必要事項をご入力ください。(申込フォームリンクは下記17をご参照ください)

**あらかじめ弊社からの電子メール(@b-tec.jp)が受信できる設定にしておいてください。また、添付ファイルも受信できる設定にしておいてください。**

(2)弊社にて申込内容をご確認させていただき、請求のご連絡をさせていただきます。お支払い期日までに受講料をお支払いください(銀行振り込みです。手数料はご負担願います)。

**※お申込の受付処理は平日9:30~18:00となります。**

(3)弊社にてお振り込みが確認できましたら、eラーニングの受講IDを発行し、受講ガイド及び印刷版テキスト(白黒印刷)を送付させていただきます。eラーニングの受講ID等は電子メール(PDFファイル)にて通知させていただきますので、受信次第、受講を開始してください。

**※受講開始希望日ありの方は、受講開始希望日になるとeラーニングの受講が可能になります。**

(4)(3)の到着後、基本的に14日以内に下記の書類を弊社に郵送いただきます(受講開始後、ご案内させていただきます)。

・証明写真(同じもの2枚分 縦3cm×横2.4cm 裏面に氏名・生年月日をメモ)

・無線従事者免許申請書、及び申請に必要な書類(住民票等)

※証明写真は、免許証の写真にも使用されます。(基本的に、ご提出日直前に撮影されたもの)

※証明写真は、2枚分がカットされていない状態でお送りいただきます(個別のサイズカットは弊社で行います。)

※無線従事者免許証の写真は、定期的な更新がございません。

## 8. 受講中の質問、問い合わせ等の対応

受講開始後、受講者様には質問フォーム(文書の形式)をお送りしますので、ご質問は弊社担当まで電子メールにてお送りください。弊社より電子メールにて回答させていただきます。

特に、講義内容に関する質問については、受講期間に影響しないよう、速やかに回答させていただきます。

## 9. 受講完了から修了試験受験まで

eラーニングによる受講開始後、受講完了条件を満たされた方は、修了試験受験を希望する旨を弊社にご連絡いただきます。弊社で受講完了が確認された場合は、CBTの修了試験予約用のチケット番号をご連絡いたします。

※受講完了条件やチケットの発行等については、受講開始後にご案内いたします。

CBT の修了試験を受験される方は、予約前に(株)シー・ビー・ティ・ソリューションズ(CBTS)にユーザー登録を済ませていただき、システムにログインの上、会場並びに日時選択による受験予約を行っていただきます(CBTS の他の試験を受験されたことがある場合は、その際の ID とパスワードが利用できます)。

<http://cbt-s.com/index.html>

受験予約を変更される場合は、必ず事前に CBTS のシステムで予約変更処理を行っていただきます。(予約変更なく試験を欠席された場合は不合格となります。)

特に(諸事情で)、筆記による修了試験を希望される場合は、会場は名古屋市天白区、東京都荒川区、横浜市港北区の 3 会場のみとなります。筆記試験の手配等は事前調整が必要になるため相談の上、個別対応とさせていただきます。

#### 10. 修了試験会場における身分証明書確認について

**受講者本人以外の受験防止のため、修了試験会場では、当日、3. (1)の身分証明書の現物を確認させていただきます。**

#### 11. CBTの修了試験会場について

試験会場は、全国 270 箇所以上となります。詳細は、CBTS の試験会場サイトをご参照ください。

<http://www.cbt-s.com/examinee/testcenter/>

※こちらのリンクにアクセスし、右上の「試験会場空席照会」をクリックし、試験選択で「特殊無線技士」を選択してください。表示された試験名で「SRB-05 第二級海上特殊無線技士養成課程の修了試験」を選択し、会場の条件、日程を選択すると、試験実施の状況を見ることができます。

#### 12. 修了試験の受験科目及び試験時間、合格基準(電波法関係の告示による)

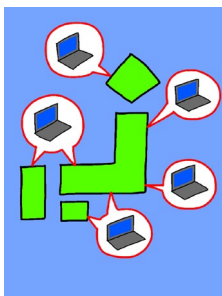
養成課程の資格	試験科目	試験時間	合格基準
第二級	無線工学	45分	ともに 60 点以上/100 点満点
海上特殊無線技士	法規	45分	

※修了試験では、受講した内容の中から問題が出題されます。

※修了試験は、選択式の問題が出題されます。択一式(正しいものを1つ選ぶ、又は誤っているものを1つ選ぶ)、又は多肢選択式(複数の選択肢から該当するものを複数選ぶ)が基本となります。

※無線工学及び法規の試験は、全体で1時間30分の試験時間として実施されます。

問題数は無線工学:10問、法規:10問です。



13. 修了試験に不合格となった場合

修了試験に不合格となった場合は、規定による再受講を行っていただき、再受講が完了していれば、修了追試験を受験できます(有料)。修了試験時同様に、CBTによる受験が可能です。

※再受講の条件は、受講開始後にご案内いたします。

※修了試験が不合格の場合、受講者は1回のみ修了追試験を受験することができます(ただし、修了追試験の受験・合格も受講期間内に行なわなければなりません。)

14. 修了試験又は修了追試験合格後、免許証交付まで

受講期間内(受講開始から4ヶ月以内)に修了試験、又は修了追試験に合格された場合は、ご提出いただいた書類により、弊社から管轄の東海総合通信局に免許申請を提出いたします。

提出後、免許となり、免許証が交付されるまではおよそ4~5週間を要します。

弊社にて免許証を受領後、受講された方へ特定記録郵便にて免許証を送付させていただきます。

15. 受講期間内に修了できなかった場合

受講期間(最長4ヶ月間)以内に受講完了及び修了試験合格ができなかった場合は失格となり、免許が受けられなくなります。失格後は弊社の規定により、新たな期間(4ヶ月間以内)で再受講いただくことが可能です(追加費用が必要です)。また、失格後、再受講をされない場合は、受講料のうち未使用分の金額をご返金させていただきます(ご返金は、修了試験受験の有無等により異なります。)

追加料金による再受講、及び失格後のご返金の金額は、失格後に受講者様あてにご連絡させていただきます。ただし、追加料金及びご返金は失格の日から1ヶ月以内の申し出に限り有効となり、1ヶ月を超えた申し出の場合は、新規の受講扱い(料金)とさせていただきます。

16. 受講料等

31,725円(税込) ※受講料には、無線従事者免許申請の印紙代を含みます。

※修了試験不合格の方は、別途 修了追試験受験料 4,950円(税込) ががかかります。

※過去に、弊社の養成課程eラーニング(1陸特・2陸特・3陸特)を受講された方は、申込フォームに記載いただくことで料金(事務手数料 税込¥2,200)を割引きます。

17. お申込み・問い合わせ先(弊社連絡先)

お申込みは、こちらの申込フォームをご利用願います。

・申込フォーム [https://sec26.alpha-1t.net/b-study.jp/rikutoku/regist/2kai\\_regist.html](https://sec26.alpha-1t.net/b-study.jp/rikutoku/regist/2kai_regist.html)

お問い合わせは、株式会社ベータテック 2海特eラーニング担当まで お願いいたします。

電子メール 2kai(at)b-tec.jp 電話番号(養成課程担当) 052-685-7909

※電子メールおよび電話でのお問い合わせのご対応は平日9:30~18:00となります。

※迷惑メール防止の対策をしております。(at)の部分を@に変更の上、お送りください。

## 18. 補足

## 第二級海上特殊無線技士で操作可能な設備等の例(次の①及び②の操作が可能です)

## ① レーダー級海上特殊無線技士で操作可能な設備の例

- ・船舶レーダーの技術操作… 船舶用の大型レーダー、レーダーのみを備える船舶のレーダー
- ・沿岸監視用レーダーの技術操作… 海上を航行する船舶の監視用レーダー

## ② 第二級海上特殊無線技士で操作可能な設備の例

- ・船舶局(国内通信)の操作… 沿岸漁船の船舶局、沿海を航行する内航船の船舶局 等  
※国際 VHF の DSC 運用が可能です。
- ・海岸局(国内通信)の操作… 中短波帯(10W 以下)や 27MHz 帯・40MHz 帯の漁業用海岸局、  
VHF を使用する小規模海岸局 等

## &lt;操作範囲について 参考&gt;

※「空中線電力」とは、電波の送信電力(送信機出力の電力)です。

※「外部の転換装置」とは、無線機のスイッチやつまみ類です。

※「電波の質に影響を及ぼさないもの」とは、「外部の転換装置」(=無線機のスイッチやつまみ類)を操作しても、電波の質(発射される電波の周波数のズレ・電波の幅(広がり)、不要な周波数成分の強さ)が変化しないことです。

※「空中線電力」は「電波の質」には含まれていないため、無線機のスイッチやつまみ類を操作した場合に「空中線電力」が変化するものの操作は可能です。

※「技術操作」とは、電波を発射・停止する操作とお考えください。

## 19. 補足2 海上特殊無線技士の操作可能例の比較 (○…操作可能 ×…操作不可)

第二級(2海特)・第三級(3海特)・レーダー級(レ海特) ※2海特・3海特は国内通信が可能

資格	国際 VHF 25W 機	国際 VHF 5W 機 DSC あり	国際 VHF 5W 機 DSC なし	レーダー 5kW 超 ※1	AIS ※2	漁業無線 27MHz 帯 海岸局	漁業無線 27MHz 帯 船舶局
2海特 当該資格	○	○	○	○	○Class A 及び簡易型	○	○
3海特	×	×	○船舶施設	×	○簡易型	×	○5W 以下 電話に限る
レ海特	×	×	×	○	○簡易型	×	×

※1 出力5kW未滿の船舶レーダーの操作には無線従事者の資格は不要です。ただし、船舶レーダーのみの無線局の免許(無線航行移動局)は必要です。3海特の操作範囲は5kW以下の船舶レーダーとなっています。

※2 AISのうち、簡易型AIS(AIS Class B)の操作には無線従事者資格は不要ですが、船舶局の無線局免許が必要です。

以上